

【 シンポジウム 】

シンポジウムについて

進行係 森主 宜延

最近、子供の歯科治療は小児歯科の標榜制の導入などもあり一般化してまいりました。医療の面から理想を追い求める子供の歯科治療のシステムを開業という場で行なう場合、経済性、社会性など現実という大きな壁にあたりいろいろ問題が生じていることを耳にします。これらの問題はそれぞれの一般臨床家にとって“悩み”という形で心を痛める原因ともなり、治療対応にも障害を招く一因となっているように感じます。

現実をふまえたよりよい子供の歯科治療を一般化させるために、今こそ一般臨床家の皆様がかかえている悩みを本音で語り合う時期にきていると考えます。そこで、今回のシンポジウムのテーマを「子供の歯科治療における悩み」といたしました。シンポジストの方々は可能なかぎり、それぞれの立場と九州地区全域から御意見をいただけることを考慮しおねがい致しました。

学会参加の方々も聴衆にとどまらず多くの御意見を述べていただくことを希望いたします。

シンポジスト

安楽 弓人（鹿児島市・開業）

武田 康男（北九州市立総合療育センター）

田中 巽（鹿児島市・開業）

樽美 哲生（佐世保市・開業）

真境名由守（沖縄県浦添市・開業）